

今、この企業に注目

企業インタビューシリーズ²³

人と人とのコミュニケーションをサポートする製品の開発をめざし、事業展開を図るヒューマノイド。今後市場の拡大が見込まれる介護分野でのビジネスプランが、前回の「かながわビジネスオーディション」で見事奨励賞に輝きました。森岡昌紀社長に受賞後の1年を振り返ってもらおうとともに、オーディションの思い出、今後の展開などについて伺いました。



森岡昌紀社長

Q 受賞後の事業展開はいかがですか？

受賞プランは、当社の主要製品であるITを活用した多目的ソフトウェア「mu（ミュー）」を中核技術としたもので、2つのプランで応募しました。1つは「在宅介護用マニュアル閲覧ユニット」で、受賞4ヵ月後の昨年3月、「SasuKe（佐介）」という製品名でリリースし、もう1つの「訪問看護師・介護従事者用医療・看護マニュアル搭載の携帯端末」は、関西の大手家電メーカーとの開発が進みはじめました。また、閲覧ユニットは現在、大手介護会社との提携話が進行中で、かなり期待が持てるようになりました。

Q オーディションの感想や印象深かった点など、お聞かせください。

実はオーディションには2回目の参加で、最初は受賞に至らなかったのですが、今度こそはという気持ちが強かったです。ただ、当社の製品は、シーズ型のもので、審査員の方に理解していただけるか、不安でした。しかし、じっくりとよく聞いていただき、ヒアリング審査はとても勉強になりました。そして、審査員の方から「この製品は技能伝承には絶対必要。ぜひ続けて」と、励まされたことが印象に残っています。

Q 当日は緊張されましたか。また、他の発表をどのように見ましたか？

当社のプレゼンは少し変わっていて、「mu（ミュー）」の音声合成機能を活用し、私がパソコンに話しかけ、それに応えるような形で、パソコン自体が発表するスタイルを取りました。そのため緊張はしなかったですし、きっちりと伝えられたと思います。他の発表を聞いて感じたのは、15分という短い時間での発表の難しさと、実に多様なプランやアイデアがあるということでした。その発想力に感心したのを覚えています。

前回のかながわビジネスオーディションでは、「訪問看護師・介護従事者用医療・介護マニュアル搭載の携帯端末と在宅介護用マニュアル閲覧ユニット」で、奨励賞とKSP賞のダブル受賞を果たした



受賞後、昨年3月に閲覧ユニット「SasuKe（佐介）」を発売。介護(写真左)だけではなく、理美容(同右)にも展開中。製造業からサービス業まで、業種を問わずに利用可能になっている

Q さて、受賞プランについて教えてください。

このプランの中核技術である「mu（ミュー）」は、あらゆる作業や動作などのマニュアル作成ツールで、作業者が自らデータを作り込める点が最大の特徴です。つまり、介護ならば要介護者個人に合わせた介護方法のマニュアルが作れます。DVDやビデオのマニュアルでは、こうしたカスタマイズはできません。作成方法も難しくなく、業務の流れに沿って、テキストや静止画、動画を入れていけばマニュアルができあがります。そして、看護・介護向けのマニュアルを作成し、パソコンと携帯端末に搭載したのが2つの受賞プランです。

Q 看護・介護以外の分野にも利用可能な製品ですね。

はい。「mu（ミュー）」はもともと、製造業向けに開発していて、ちょうど技能伝承が危惧された“2007年問題”後には、大手メーカーにも採用されました。しかし、リーマンショックがあり、なかなか展開が難しくなったので、新分野として看護・介護に注目した経緯があります。

Q 最後に、今後の事業展開についてお聞かせください。

今後、労働力人口が減少していくなかで、高齢者や女性、外国人などの新たな労働力が求められてきます。未経験者に早く正確に技能・知識を身につけてもらうには、わかりやすいマニュアルの整備が不可欠です。これをサポートするのが、当社の技術・製品といえます。こうした時代の流れから、製造業でもまた新たに導入が決まりました。業種を超え、幅広い展開をめざしたいと考えています。

株式会社ヒューマノイド

所在地 川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟300L2号室

☎ 044(281)3471

ホームページ <http://www.humanoid.co.jp/>

●問い合わせ 経営企画室（広報担当） ☎ 045(633)5201